

正  
信  
念  
佛  
偈

特38

996

018172-000-4

特38-996

正信念佛偈

平沢 潤助/校

M19.9

ABF-1281





明治十九年十月十九日内務省交付ノシ

正シキウ信シン念ニム佛フチ偈ケ

无リヤウ量シユ壽ニヨ如ライ來ク二ク歸キ命ミヤウシ不

可シ思キ議クワウ光ナ二ム南シ无タシテ

マホウツサウルホ法サウ藏ホ菩サウ薩ノ因イン位イ

ノセトシキサイ世ワウ自フチ在ノ王ミ佛ミノ

モトニアリテ、諸佛淨土  
ノ因國土人天ノ善惡ヲ  
覩見シテ、无上殊勝ノ願  
ヲ建立シ、希有ノ大弘誓  
ヲ超發セリ、五劫ニコレ

ヲ思惟シテ、攝受スカサ  
子テチカフラクハ名聲  
十方ニキコエント、ア  
子ク无量无边光无碍无  
對光炎王清淨歡喜智慧

光クワウ不斷フツタン難思ナンシ无稱ムシヨウ光クワウ超テウ日ニチ  
月クワチ光クワウヲハナチテ塵刹チンセツヲ  
テラス一切ド井チサイノ群生クンシヤウ光照クワウセウ  
ヲカウムル本願ホンガンノ名號ミヤウカウ  
ハ正定シヤウテイノ業コウナリ至心シシム信シシ

樂ケウノ願クワンヲ因イントス等覺トウカクヲ  
ナリ大涅槃タイニハネヲ證シヨウスルコ  
トハ必ヒチ至シ滅度メツトノ願クワン成シヤウ就ジュ  
ナリ如來ニヨライ世ヨニ興コウ出シチシタ  
マフユヘハタ、彌陀ミタノ

本願海ヲトカシトナリ  
五濁惡時ノ群生海如來  
如實ノミコトヲ信スヘ  
シヨク一念喜愛ノ心ヲ  
發スレハ煩惱ヲ斷セス

シテ涅槃ヲウ凡聖逆謗  
ヒトシク廻入スレハ衆  
水海ニイリテ一味ナル  
カコトシ攝取ノ心光ツ  
子ニ照護シタマフステ

ニヨク无明ノ闇ヲ破ス  
トイヘトモ貪愛瞋憎ノ  
雲霧ツ子ニ眞實信心ノ  
天ニオホヘリタトヘハ  
日光ノ雲霧ニオホハル

レトモ雲霧ノシタアキ  
ラカニシテヤミナキカ  
コトシ信ヲエテミテウ  
ヤマヒオホキニ慶喜ス  
レハスナハチヨコサマ

二五惡趣ヲ超截ス一切井千善惡ノ凡夫人如來ノ弘誓願ヲ聞信スレハ佛廣ク大勝解ノヒト、ノタマヘリコノヒトヲ分陀利

華トナツク彌陀佛ノ本願念佛ハ邪見憍慢惡衆生信樂受持スルコトハナハタモテカタシ難ノナカノ難ユレニスキタ

ルハナシ印度西天ノ論  
家中夏日域ノ高僧大聖  
興世ノ正意ヲアラハシ  
如來ノ本誓機二應セル  
コトヲアカス釋迦如來

楞伽山ニシテ衆ノタメ  
ニ告命シタマハク南天  
竺ニ龍樹大士世ニイテ  
コトクヨク有無ノ  
見ヲ摧破セン大乘无上



ノ法ヲ宣説シ、歡喜地ヲ  
證シテ安樂ニ生セント。  
難行ノ陸路クルシキコ  
トヲ顯示シテ、易行ノ水  
道ヲノシキコトヲ信樂

セシム、彌陀佛ノ本願ヲ  
憶念スレハ、自然ニスナ  
ハチノトキ必定ニイル  
タ、ヨクツ子ニ如來ノ  
ミナヲ稱シテ、大悲弘誓

ノ恩オンヲ報ホウスヘシトイヘ  
リ天テン親シン菩ホ薩サ論ロンヲツクリ  
テトカク无ム尋ク光クウ如ニヨ來ライニ  
歸ク命メイシタテマツル修シュ多タ  
羅ラニヨリテ真シン實ジチヲアラ

ハシテ横ワウ超テウノ大ダイ誓セ願イヲ  
光クウ闡センスヒロク本ホン願クワン力リキノ  
廻エ向カウニヨリテ群クン生シンヲ度ト  
センカタメニ一イチ心シンヲア  
ラハス功ク德トク大ダイ寶ホウ海カイニ歸ク

入スレハカナラズ大會タイ  
衆ノカスニイルコトヲ  
ウ蓮華藏世界ニイタル  
コトヲウレハスナハチ  
真如法性ノ身ヲ證セン

煩惱ノ林ニアワンテ神シ  
通ヲ現シ生死ノワノニ  
イリテ應化ヲシメスト  
イヘリ本師曇鸞ハ梁ノ  
天子ツ子ニ鸞ノトコロ

ニムカフテ菩薩ト禮シ  
タテマツル三藏流支淨  
教ヲサツケシカハ仙經  
ヲ焚燒シテ樂邦ニ歸シ  
タマヒキ天親菩薩ノ論

ヲ註解シテ報土ノ因果  
誓願ヲアラハス往還ノ  
廻向ハ他カニヨル正定  
ノ因ハタ、信心ナリ感  
染ノ凡夫信心發スレハ

生死スナハチ涅槃ナリ  
ト證知セシムカナラス  
无量光明土ニイタレハ  
諸有ノ衆生ミナアマ子  
ク化ストイヘリ道綽聖

道ノ證シカタキコトヲ  
決シテタ、淨土ニ通入  
スヘキコトヲアカス萬  
善ノ自カ勤修ヲ賤ス圓  
滿ノ徳號專稱ヲス、ム。

三不三信ノヲシヘ慙懃  
ニシテ像末法滅オナシ  
ク悲引ス一生惡ヲツク  
レトモ弘誓ニマウアヒ  
ヌレハ安養界ニイタリ

テ妙果ヲ證セシムト善  
導ヒトリ佛ノ正意ヲア  
キラカニセリ定散ト逆  
惡トヲ矜哀シテ光明名  
號因縁ヲアラハス本願

ノ大<sup>ダイ</sup>智<sup>チ</sup>海<sup>カイ</sup>二開<sup>カイ</sup>入<sup>ニラ</sup>スレハ  
行者<sup>キヤウシヤ</sup>マサシク金<sup>コム</sup>剛<sup>カウ</sup>心<sup>シン</sup>ヲ  
ウケシム慶<sup>キヤウ</sup>喜<sup>キ</sup>一<sup>井</sup>念<sup>子ム</sup>相<sup>サウ</sup>應<sup>オウ</sup>  
シテノチ韋<sup>井</sup>提<sup>タイ</sup>トヒトシ  
ク三<sup>サム</sup>忍<sup>ニン</sup>ヲエスナハチ法<sup>ホフ</sup>

性<sup>シキウ</sup>ノ常<sup>シヤウ</sup>樂<sup>ラク</sup>ヲ證<sup>シヨウ</sup>セシムト  
源<sup>ゲン</sup>信<sup>シン</sup>廣<sup>ヒロ</sup>ク一<sup>井</sup>代<sup>タイ</sup>ノ教<sup>ケウ</sup>ヲヒ  
ラキテヒトヘニ安<sup>アン</sup>養<sup>ヤウ</sup>二  
歸<sup>ク井</sup>シテ一<sup>井</sup>切<sup>サイ</sup>ヲス、ム專<sup>セン</sup>  
雜<sup>サフ</sup>ノ執<sup>シフ</sup>心<sup>シン</sup>淺<sup>セン</sup>深<sup>シム</sup>ヲ判<sup>バン</sup>シテ

報<sup>ホウ</sup>化<sup>クエ</sup>二<sup>ニ</sup>土<sup>ト</sup>一<sup>ト</sup>サシク辨<sup>ヘシ</sup>立<sup>リウ</sup>  
セリ極<sup>ゴク</sup>重<sup>チュウ</sup>惡<sup>アク</sup>人<sup>ニン</sup>ハタ、佛<sup>ブツ</sup>  
ヲ稱<sup>ショウ</sup>スヘシ。ワレマタカ  
ノ攝<sup>セツ</sup>取<sup>ク</sup>ノナカニアレト  
モ煩<sup>ボム</sup>惱<sup>ナウ</sup>マナコヲサエテ

ミタテマツラストイヘ  
トモ大<sup>ダイ</sup>悲<sup>ヒ</sup>モノウキコト  
ナクシテツ子ニワレヲ  
テラシタマヘリ、ト本<sup>ホン</sup>師<sup>シ</sup>  
源<sup>ゲン</sup>空<sup>クウ</sup>ハ佛<sup>ブツ</sup>教<sup>キョウ</sup>ヲアキラカ



ニシテ善惡ノ凡夫人ヲ  
憐愍セシム真宗ノ教證  
ヲ片州ニ興ス選擇本願  
惡世ニヒロム生死輪轉  
ノイヘニカヘリキタル

コトハ決スルニ疑情ヲ  
モテ所止トススミヤカ  
ニ寂靜无爲ノミヤコニ  
イルコトハカナラス信  
心ヲモテ能入トストイ

へり、弘經ノ大士宗師等  
无邊ノ極濁惡ヲ拯濟シ  
タマフ道俗時衆トモ二  
同心ニ、タ、コノ高僧ノ  
説ヲ信スヘシ。

明治十九年三月一日出版御届  
同年九月出版

定價金四錢

校正兼  
出版人

福井縣士族

平澤潤助

越前国又羽郡福井  
佐久良下町廿七番地

